

小学生向け教育支援プログラム

テクノロジーを使って
地域の困りごとを解決しよう
ご紹介資料

富士通株式会社

1. 学校教育を取り巻く課題認識.....	3
2. 富士通が教育支援活動を通じて目指すところ.....	4
3. 「テクノロジーを使って地域の困りごとを解決しよう」について.....	5
4-1. 使用教材について	
4-2. プログラムの流れ	
4-3. 実施までのスケジュール	
4. プログラム導入により期待される効果.....	12
5. 過去実績・参加者の声.....	13
6. プログラム実施までの流れ.....	14
7. 申込・問い合わせ先.....	15

1. 学校教育を取り巻く課題認識

教育環境の変化



デジタル社会への適応

急速に進展するデジタル社会において、子どもたちはテクノロジーとともに生きる未来を避けて通ることはできない。そのため、将来の社会参画に向けて、早期からの体系的な情報教育の導入が不可欠



進化するAIとともに生きる力の育成

AI技術の進化が加速する現代において、AIを効果的に活用するためには、「社会課題を発見し、問いを立て、解決に導く力」といった人間ならではの力が、これまで以上に重要性を増している

教育現場の声



テクノロジー分野の教育体制

情報教育の重要性が今後ますます高まる中、情報教育を進める中で、テクノロジー分野の知見を求める声がある



従来の枠を超えた「開かれた学び」

学校のカリキュラムに加え、企業や地域社会と連携した学びを提供することは、子どもの学びを深める有効な手段。学校内の授業以外にも、子どもたちが社会とつながる学びの実感を得る機会を求める声



教育現場における負担の増大

多様な学習機会の提供が進む一方で、授業の質にばらつきが生じやすくなり、教員の負担も増加している。特に変化の激しいテクノロジー分野においては、学校単独での対応には限界がある

2. 富士通が教育支援活動を通じて目指すところ

富士通は、テクノロジー企業として長年培ってきた知見を活かし、ICTと企業で重視される「課題起点」の思考を融合させた、実践的なプログラムを提供します。

児童・生徒には探求的な学びの機会を、教職員には体系化されたプログラムによる業務負担の軽減を実現し、双方にとって持続可能で価値ある教育環境の創出を目指します。

「未来の社会とビジネスを支える“人材”を創出」

- ◆身近な社会課題をテーマにすることで、子どもたちは自ら問いを立て、解決へと導く力を育みます
- ◆富士通の事例を通じて、テクノロジーと社会の関わりを学び、興味・関心を高めます
- ◆企業の専門的な知見に触れることで、子どもたちの視野が広がり、社会に貢献する多様な仕事への理解とキャリア観を育みます

3. テクノロジーを使って地域の困りごとを解決しよう

対象 小学5～6年生
授業形態 オンライン (エリアによっては出前授業も承ります。個別にご相談ください。)
授業時間 3時限

※1時限:45分間を想定(通常授業の時間割)

募集期間 通年 ※実施2か月前までに申し込みください
実施校数 制限なし



小学生が日常生活で見つけた「困りごと」に対して、テクノロジーを活用した解決策を考えます。児童が主体的に考え、試行錯誤しながら解決策を見つけ出す過程を大切にしています。

<本プログラムが提供するもの>

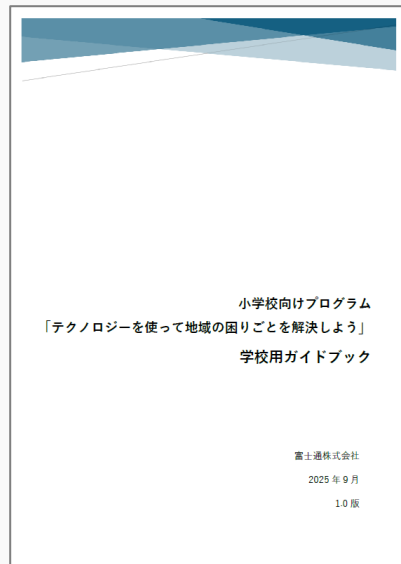
- ・身の周りのテクノロジーについて学び、テクノロジーを身近に感じる機会の提供
- ・身の周りの出来事から地域の課題を見つけ出し、正しい問いを立てる力の育成
- ・自分で立てた問いに対して、解決する方法を考える力の育成
- ・児童同士や周りの大人との会話による、意見の違いを知るきっかけづくり
- ・企業で働く大人と会話することで、さまざまな仕事があることを知るきっかけづくり

※本プログラムのコンテンツは、「一般社団法人プロフェッショナルをすべての学校に」と共同開発した教材を元に作成しており、ベネッセ社が提供するミライシード・オクリンクプラス上でもご使用いただけます

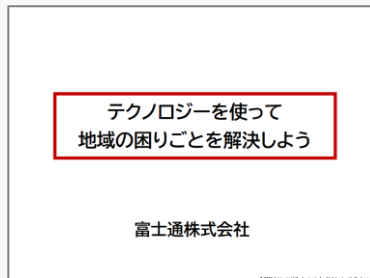
3-1. 使用教材について

以下の資料および教材を用いて、授業を進めていただきます。

①
【学校用ガイドブック】
(先生)
プログラム全体、事前授業の進め方



②
【事前学習スライド】
(先生)
1時限目で使用する教材スライド



③
【個人用ワークシート】
(児童)
1時限目の事前授業で使用

④
【発表用ワークシート】
(児童)
2 & 3時限目の授業で使用

3-2. プログラムの流れ

本プログラムは、3時限から構成されています。

1、2時限目は学校にて実施いただき、3時限目にオンラインで富士通社員とつながり、授業を行います。

ただし、2時間目の事前学習では、問いの設定やアイデア考案により時間をかけて取り組むなど、学校によって柔軟なカスタマイズが可能です。



1時限目 事前授業 (実施:学校)

身の周りのテクノロジーを見つけ
身近な困りごとを解決しよう

学校で事前授業を行い、身近なテクノロジーについて学習したり、テクノロジーを使って社会課題を解決した事例などを学習します



2時限目 グループワーク (実施:学校)

身近な課題についてテックカードを
使った解決アイデアを考えよう

事前学習で学んだことをもとに、地域の困りごとを見つけ、3つのテックカード(見える化・自動化・つながる化)を使って解決策を考えます



3時限目 アイデア発表 (実施:富士通社員&学校)

自分たちの考えたアイデアを
企業の講師に向けて発表しよう

オンライン授業にて、児童が考えた解決アイデアを講師である富士通社員に発表し、コメントやアドバイスをもらいます





1時限目 事前授業（実施：学校）

学校で事前授業を行い、身近なテクノロジーについて学習したり、テクノロジーを使って社会課題を解決した事例などを学習します。

※使用する教材：②事前学習スライド（対象：先生） / ③個人用ワークシート（対象：児童）

内容
1. 身の周りのテクノロジーを見つけよう 最新テクノロジーを紹介（ドローン、ロボット、AI） ロボットは人の何を認識できるだろう？
2. 富士通の取り組み紹介 ロボット、AI コロナ禍でも活躍したスーパーコンピュータ「富岳」の紹介
3. テックカード 3つの機能の紹介 見える化・自動化・つながる化
4. テックカードを使った解決事例を学ぼう ウニ養殖の課題、漁業での課題



2時限目 グループワーク (実施:学校)

事前学習で学んだことをもとに、子どもたちが地域の困りごとを見つけ3つのテックカード(見える化・自動化・つながる化)を使って解決策を考えます。

※使用する教材:ワークシート(発表用)(対象:児童)

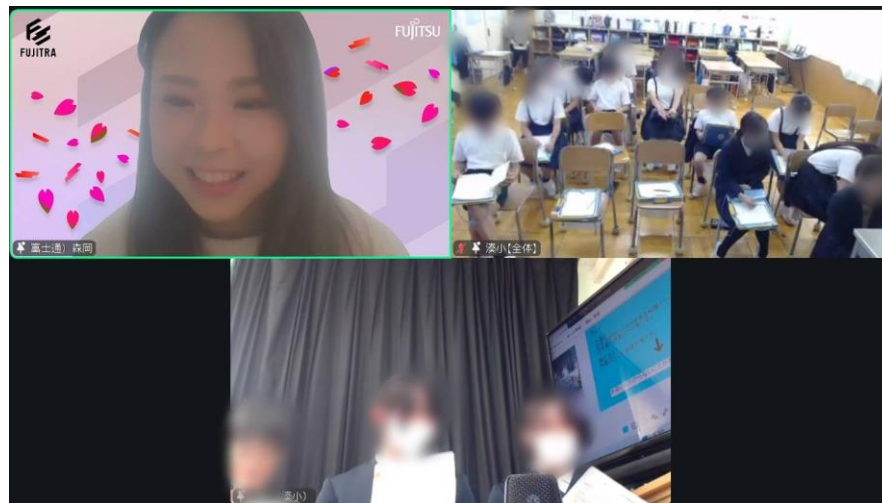
内容
テックカードを使って地域課題の解決に挑戦しよう 1. 解決するテーマを設定しよう 2. テーマに関する困りごとを調査しよう ※困りごとの調査方法は、先生にお任せしております (例)身近な人にインタビューしよう これまでの経験を振り返ってみよう インターネットで調べ学習しよう 3. テックカードで解決案を考えよう



3時限目 オンライン授業（実施：富士通社員 & 学校）

児童が考えた解決アイデアを講師である富士通社員に発表しコメントやアドバイスもらいます。

内容	時間(想定)
挨拶、講師自己紹介	5分
子供たちの発表練習	5分
子供たちの発表 & 講師からのコメント	25分
質疑応答 講師から子供に向けたメッセージ	10分
合計時間	45分



【オンライン授業風景】

(参考)ワークシートのテンプレート

個人用ワークシート

テクノロジーを使って
地域の困りごとを解決しよう

班名 _____
名前 _____

デックカード

見える化
データを視覚的に

自動化
単純作業は自動化へ

つながる化
ネットで繋がる

事例① ウニの養殖の困りごと

ウニの養殖では、水温管理が重要なため
1日に何度も水温をチェックして、調節しています。
そのため、管理がとても大変で、
1年中は養殖ができない状況でした。

どのデックカードを使って
どのように解決したでしょうか？

事例② 漁業での困りごと

地元の漁港で売れ残った魚は捨てていました。
漁師ももったいないなと思うながらも
欲しい人がいるかも分からない状況でした。

どのデックカードを使って
どのように解決したでしょうか？

■ デックカードを使って地域課題の解決に挑戦しよう
課題一覧から気になるテーマを選ぼう

観光

交通

環境

産業

発表用ワークシート

テクノロジーを使って地域の困りごとを解決しよう

班名 _____
名前 _____

発表用ワークシート

タイトル : _____

地域課題 : _____

デックカード : 見える化 ・ 自動化 ・ つながる化

どんな人 : _____

どんな困りごと : _____

解決する方法（イメージ図でも可）

解決した姿（イメージ図でも可）

富士通の人に
聞きたいことを自由に書いてみよう

4. プログラム導入により期待される効果

学校カリキュラムと本プログラムを連携・併用して実施することで、以下のような多面的な効果が期待できます

- 今後、求められる課題発見・課題解決思考を身につけることができます
- 他者とのかかわりを通して、多様な意見を受け入れることなどの学びを得ることができます



課題発見・
課題解決思考
の育成



子どもたちの
キャリア観の
醸成

- 実践的な学びは、子どもたちの学習意欲を高め、将来の具体的なイメージをもつことができます
- 多様な仕事や社会とのつながりを知ることによって、視野が広がり自らの将来について考える機会が増えます

- 企業と学校、地域が連携し、学びを通じて地域全体が活性化します
- 学習を通じて、子どもたちの地元への関心が高まることで、長期的に持続可能な地域社会の実現に貢献します



地域社会活性化
および持続可能
な社会への貢献



教育の質向上
および
現場の負担軽減

- テクノロジー企業の専門知識を活用することで教育の質が向上します
- 企業のノウハウを活かした教材の提供により授業の質の均一化および、現場の負担軽減につながります

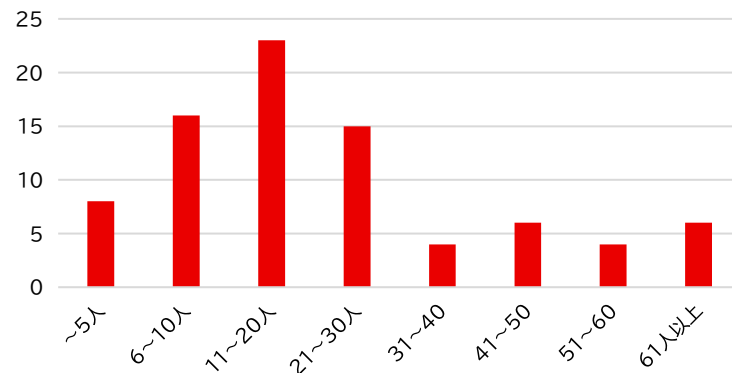
5. 過去実績と参加者の声

本プログラムは、2023年から実施しており、年々多くの学校様にご活用いただいています。
また、クラス規模や地域を問わず、日本全国で実施しております。

過去実績

年度	学校数	児童数
2023	8	80
2024	27	496
2025	47	1,393
合計	82	1,969

実施学校の規模



参加者の声



教師

教師が与えることができない、社会に必要な知識や経験を得ることができるプログラムだと思います。子どもたちの視野が広がったり、将来への期待感が高まると思いました。

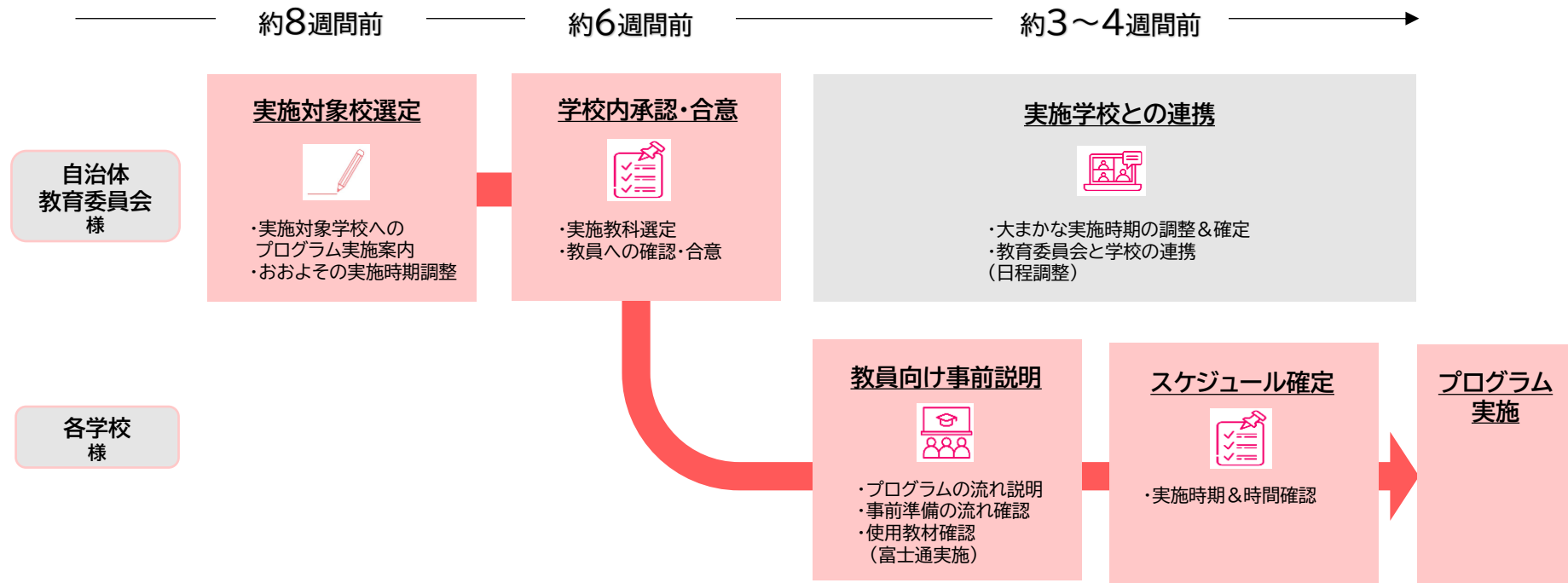


生徒

発表は緊張したけれど、大人のアイデアを聞けてとても勉強になりました。テクノロジーがこれからどのように進化をしていき、どのくらい人の役に立つかが楽しみです。

6. プログラム実施までの流れ

プログラム実施の約8週間前から、教育委員会様向けへのプログラムご説明および、内容や実施学校の調整を進めてまいります。
3～4週間前を目安に、学校様における実施日程や先生への事前説明を行います。



7. 申し込み・問い合わせ先

本プログラムへのお申し込み、お問い合わせにつきましては、以下のURLからご登録をお願いします。
別途、事務局よりご連絡させていただきます。

富士通株式会社 教育支援プログラム事務局

[富士通株式会社の教育支援プログラム 問い合わせ・申し込みフォーム](#)

QRコードはこちら→



